

靖国神社で清祓式の折撮影



マーシャル方面遺族会  
 (旧タエゼリン方面戦没者遺族会)  
 郵便番号 154  
 世田谷区野沢 3-11-3  
 電話 03-424-4300  
 振替口座東京 0-93487 番  
 編集兼発行人 佐藤宗正

## ギルバート諸島に 忠魂慰霊碑を△その三▽

会長 浮田 信家

明けましておめでとうございます。  
 新年の御挨拶と共にこの報告の出来まことを心から嬉しく思います。

昨年七月二十五日に靖国神社で清祓式を済ませた慰霊碑は、明正交易起業(株)によって入念に梱包され、八月三日横浜出港のパンフィックアイランダー号で、八月十二日にベシオ島に着きました。ベシオ町評議会の皆様は私共のお願いした通りの基礎工事を施工して、碑石をのせられる状態にして、慰霊団の到着を待っていてくれたのであります。

十一月二十一日に靖国神社に参集した除幕式参加者一行は神前に経過を報告し参拝の後、結団式を行いました。  
 団長は私の代理として佐藤副会長に委嘱し、一行三五名は同日成田発、グラム、サイパン、ナウルを経て二十二日午後タラワ空港に到着しました。

代表者は直ちにキリバス共和国イイレミア・タバイ大統領閣下を訪問して、この度の暖い御配慮に対し御礼を申し上げます。その他の団員は玉砕の島ベシオ島の見えるバイリキ地区に行き、島影を賑に焼きつけました。

明けて二十三日、キリバス共和国が聖域として管理されている慰霊公園のほぼ中央に除幕式の準備が整い、礼装の遺族、政府関係者、在島の日本人、報道関係者約九十名参列して碑の除幕式が行われました。

慰霊祭は、団長から追悼の詞が述べられ、キリバス政府代表、政庁関係来賓、遺族が夫々花を献じ、戦没者の御霊安かれと敬虔な祈りを捧げました。

思えば建碑の申請をしてから一カ年も経たぬうちにこのような大事業が出来ましたのは、偏にキリバス共和国大統領閣下の御厚情によるもので、これに加えて関係会員の熱意と、御支援下さった本会会員の誠心が実を結んだものであります。まことに御同慶の至りに堪えませぬ。

### 目次

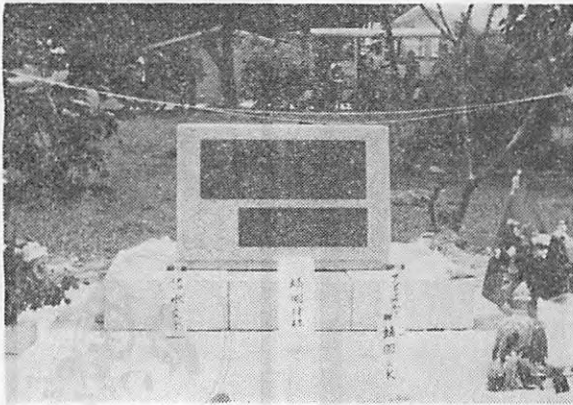
ギルバート諸島に忠魂慰霊碑を △その三▽	1
..... 会長 浮田 信家	1
ギルバート諸島の慰霊碑完成	2
..... 本会創立二十年に際して	3
..... 会長 浮田 信家	3
キリバス共和国について	4
..... 副会長 三ツ木正次	4
故内海軍三様のご逝去を悼む	6
政府派遣マーシャル諸島 慰霊巡拝団帰る	7
南瀛之碑 清祓式	8
..... 中村 久	8
..... 谷沢 英子	8
..... 谷沢 重成	8
戦地からの便り	9
..... 柴崎 晃	9
会員の便りから	10
58年2月6日の御案内	11
寄付者芳名	11
ギルバート諸島慰霊碑建立 について	12
..... 田中 雄吉	12
事務局だより	12
戦記シリーズ	47
.....	50

# ギルバート諸島の慰霊碑完成

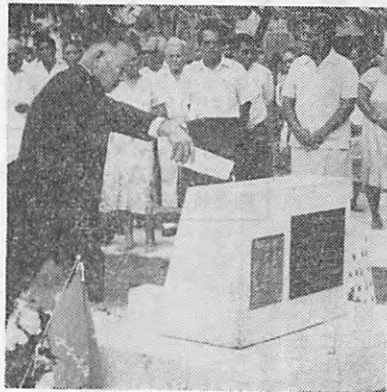
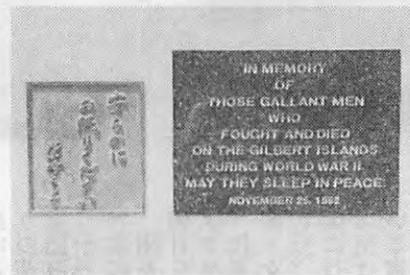
11月23日午後3時30分、ベソオ島の慰霊公園のほぼ中央に白布に覆われた碑の後方に、キリバス国旗と日本国旗が掲げられ、来賓席には、国会議長、各省大臣、議員等とその夫人併せて41名が着席された。

在島中の、国際協力事業団、D & A エンジニアリングKK、宝建設KK、東丸の皆様もおいで下さって総勢90名を超える盛況となった。

キリバスの来賓と、団員鈴木麗子さんが紅白の紐を引いて除幕し、団長が靖国神社から拝領してきた「靖国の



水」を注いで除幕の式を終えた。碑は北西の方向、日本に向けて建てられ、靖国神社、水交会、本会の供えた日本酒だけの簡素な飾りに、心の引き締まる思いがする。(3頁へ続く)



# 追悼の詞

謹んで、ギルバート諸島に眠る日本海軍軍人軍属五千二百余柱の御霊に申し上げます。

私共三十五名は、本会会員を代表して只今此処に参りました。

貴方が、祖国日本防衛の防人としてこの方面の戦闘に散華されてから既に三十九年を経過しました。

日本は、貴方方始め二百数十万柱の尊い犠牲を払い乍ら、力尽きて敵の軍門に降りました。しかし現在では、文化、道義、経済、学術等の面に於ては世界の一等国の一つとしての地歩を確保し、世界の平和と繁栄のために貢献しております。

これは偏に大東亜戦争に散華された貴方方のお蔭によるものであります。遺族を始めとする全国民の血の惨む努力の上に、貴方方の御加護があったからこそ今日の日本が存在するのであります。

私共は戦後数度にわたりこの方面の慰霊にお伺いしておりますが、キリバス共和国の皆様が、この地を霊園として管理され戦死者の霊に敬虔な扱いをされていることに深く感謝しております。

昨年、当地を訪れた遺族が中心となって慰霊碑を建立することを企画しました処、幸いにイイレミア・タバイ大

統領閣下の御理解ある御取計により、申請通りの許可を頂きました。更に、土地使用や施工等につきましても至れりつくせりの御配慮を賜り、私共は只々感激の他はありませんでした。この度の除幕式、慰霊祭に際しましても当地官民の皆様から格別の御好意がよせられ、敬虔な祈りを捧げておられるのは誠にありがたいことであります。

貴方方の遺された子弟は、皆立派に成人され、日本再建の原動力として各方面に活躍されております。政府は、八月十五日を「戦死者を追悼し平和を祈念する日」と定めました。

私共は、貴方方の御遺志を引き継ぎこの国の皆様との親善を深めてゆきたいと存じます。慰霊碑の名を「徳の高人の住む島」を表わす「南瀛」としたのもこの意味あいからであります。

ギルバート諸島に散華された皆様、日本国は安泰です。日本民族は平和に榮えております。御安心なされましてこの島で散華された他国の方々や、島の皆様と共に安らかにおやすみください。

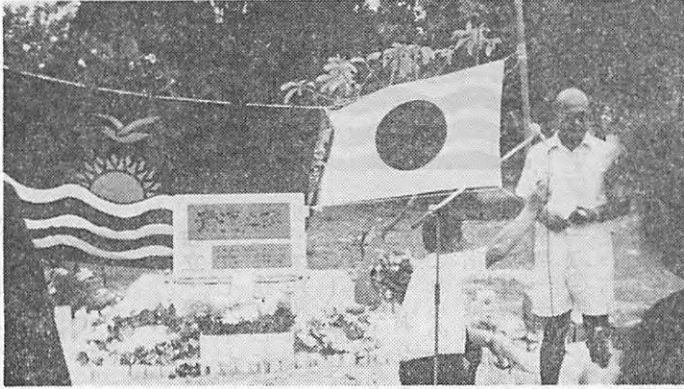
昭和五十七年十一月二十三日

マーシャル方面遺族会

会長代理 佐藤 宗不  
慰霊団団長

団長の捧げる追悼の詞は、来賓には  
予め訳文が配られていたので私共の気  
持がわかって頂けたと思う。

団員代表の献花、拝礼につづき、来  
賓を代表してA・バイテケ駐日大使、  
M・タニエラ国会議長、I・C・パッテ  
ン様令夫人の順に献花、礼拝があり、  
次にボアナレケ貿易産業大臣から丁重  
な御挨拶を頂き、全員が献花して予定  
どおり午後四時慰霊祭を終了した。  
直ちにレセプション会場マニアバ



来賓の御挨拶

(公会堂)に席を移して盛大な和やかな  
直会(なおりい)となった。団員が携  
えていった日本酒は特に好評で、松下  
さん持参の日本人形二体はみんなの目  
をひいた。  
ベシオ町評議会の提供による民族舞  
踊団(一〇〇人)の踊りと唄の力強さ  
に、若い国家のエネルギーを感じたこ  
とであった。



参加者一同

### 碑名の由来

ギルバート慰霊碑名「南瀛の碑」は  
環礁5号に掲載された次の詩からとり  
ました。  
寄マージナル方面遺族会  
斎藤 周 助

唯一一誠無一私  
大乘心事只天知  
南瀛漸見祀塵歟  
欲建慰霊彰顯碑

大乘(己を捨てて大衆に尽す)  
南瀛(南の大海、又、徳の高い人の住  
む南の島)  
祀塵(不幸な出来ごと、戦争)

### 57年 除幕式・慰霊祭参加者

- 小橋順子(青森)、奥山キノ、近藤キ  
クエ(秋田)、渋谷賢一(新潟)、田中  
雄吉、及川よね、宮沢和子(長野)、  
日下山 光、矢吹はま、小倉洋子(茨  
城)、糸川和男(埼玉)、谷沢英子、津  
久井艶子、桜井一正(千葉)、佐藤宗  
丕、中島新之丞、滝 知道、中村 久  
中村澄枝、星川 武、星川きみゑ、  
糸川雄幸、河野勇一、河野武利、長尾  
静子(東京)、吉水梅子(神奈川)、  
松下竜二、大石初次郎、大石スマ(静  
岡)、鈴木麗子(愛知)、植野八重子、  
中野フヂエ(大阪)、坂本光、柴崎  
晃、楠 和子(兵庫)

△添乗員、西田悠治、戸倉 高▽

### 本会創立

#### 二十周年に際して

会長 浮 田 信家

本会は昭和38年に創立されましたの  
で今年満20周年になります。

思い起しますと、戦死者名簿兼遺族  
名簿(カード)の作成や、42年の半歳  
にわたる各島の調査、収骨、現地慰霊  
等そしてまた43年のクエゼリンの慰霊  
碑の建立、度々の現地慰霊団の派遣、  
さらに昨年のギルバートの副碑建立な  
ど、数々の立派な活動をしてきまし  
た。

これらの事は元来、国がやるべきこ  
となので本会発足早々政府に要請した  
のですが、色々の事情でできないとい  
うので、本会の独力を以ってやりとげ  
たのであります。しかし、国のため一  
命を捨てた英霊はどうお考えでしょう  
か。やはり政府が慰霊するのを望んで  
おられると思えてなりません。

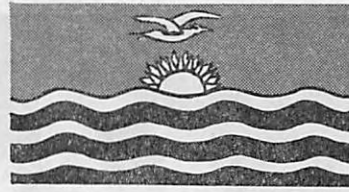
政府は、昭和48年以来海外に六基の  
戦死者慰霊碑を建立されましたが、皆  
サイパンより西の方にあって、東太平  
洋には未だ建てられておりません。

私はこの際政府に対して、マージナル諸島、ギルバート諸島及びこれに隣  
接する海域で散華された戦死者の慰霊  
碑を建立されるよう要請したいと思  
います。



# キリバス共和国について

副会長 三ツ木 正次



### △独立・領域▽

一九七九年七月  
一二日独立したキ  
リバス共和国は、  
赤道直下に散在す  
る数多くの島々か  
ら成っておりま  
す。これらの島々  
は、南北は赤道を  
挟んで北緯一〇度

・南緯一度、東  
西は国際日付変更線(一八〇度)を挟  
んで西経一五〇度・東経一六九度間の  
五〇〇万平方キロメートルの海域に散  
在していますが、珊瑚礁である西方の  
ギルバート諸島(二六島)、中央より  
やや西方のフェニックス諸島(八島)、  
東方のライン諸島(一一島のうち米領  
の三島を除く八島)と西端の火山島で  
あるバナバ(オーシャン)島に分かれ  
ています。海域は東西に長く、例えば  
南方のフrint島から北方のワシント  
ン島までは二、〇五〇キロメートルで  
あるのに対し東方のクリスマス島から  
西方のバナバ(オーシャン)島までは  
三、八七〇キロメートルもあります。

これらの島々は、独立するまでは、

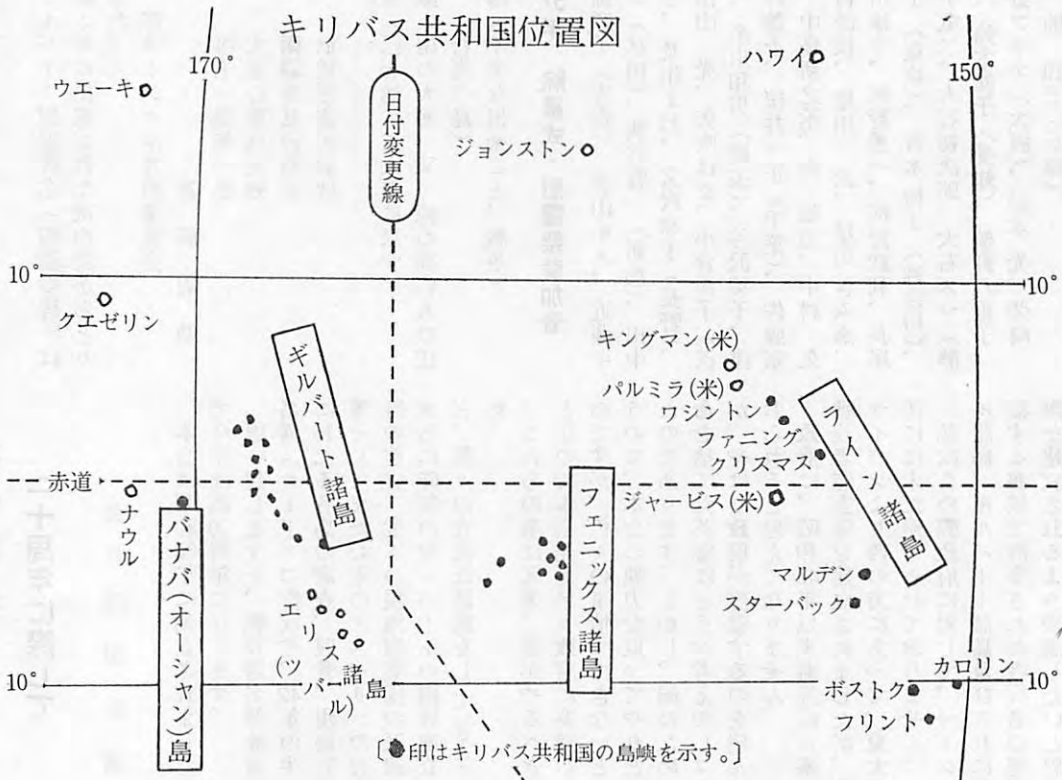
### △面積・人口・人種▽

フェニックス諸島のカントン島、エン  
ダバリー島が英米の共同信託統治地であ  
った他は殆どが英国の属領でした。  
「キリバス」というのは「ギルバー  
ト」の現地なまりで、共和国の国旗は  
赤地で下半部に青と白で波を、中央に  
金色で太陽、その上方にやはり金色で  
軍艦鳥の飛ぶ姿を描いています。

キリバス共和国の陸地総面積は約六  
八四平方キロメートル(対馬よりやや  
狭い)で、一九八〇年の推定人口は約  
五八、六〇〇人で、人種的にはその大  
部分がマイクロネシア人で他は少数のポ  
リネシア人、土着住民その他の移住者  
ということです。

一九八〇年の人口の分布は、ギバル  
ト諸島の一六島に計約五三、六〇〇  
人、フェニックス諸島のうちの三島に  
計約二、一〇〇人、バナバ島に約三〇  
〇人で、他はナウルその他の外国に居  
るか船に乗り組んでおり、フェニッ  
クス諸島のうちの五島及びライン諸島に  
は定住者は居ないと報告されています  
(尤も年度は明らかではありませんが、  
別の資料によりますと、ライン諸島に  
約一、五〇〇人の定住者が居り、逆に

### キリバス共和国位置図



フェニックス諸島には定住者は居ない  
 ということだす。いづれにしても、  
 全人口の八〇―九〇％はギルバート諸  
 島に、就中タラワ島(二〇、〇〇〇―  
 二二、〇〇〇人位)に集中していま  
 す。マキン(ブタリタリ)島の定住者  
 は一、五〇〇人弱ということだす。

△立法・行政▽

首都の所在地であるタラワ島は、三  
 角形の環礁で主な島部はベティオ、バ  
 イリキ、エイタ、ビケニブーなどで、  
 官庁街はバイリキの近くに建設され  
 ています。

立法院は一院制で、二〇の選挙区か  
 ら選出された三六名の議員から成っ  
 ています。大統領は国の元首と政府の長  
 を兼ね、独立当時、内務、厚生、建設  
 ・通信、通商・産業・労働、大蔵、資  
 源開発、教育・文化、ライン・フェニ  
 ックス、法務の九大臣が置かれていま  
 した(外務は後に設けられたのでし  
 ょうか)。

△財政・金融▽

通貨は濠ドルで、一九八〇年の年間  
 予算は、一、三〇〇万濠ドルで、リン  
 鉱石に対する課税が歳入の五〇％以上  
 を占め、外国からの援助も一〇％以上  
 に達しています。

金融の中心は各島に代理店をもつニ  
 ユーサウス・ウエールズ銀行で、現地  
 の貯蓄の大半が預託されています。

△資源・産業▽

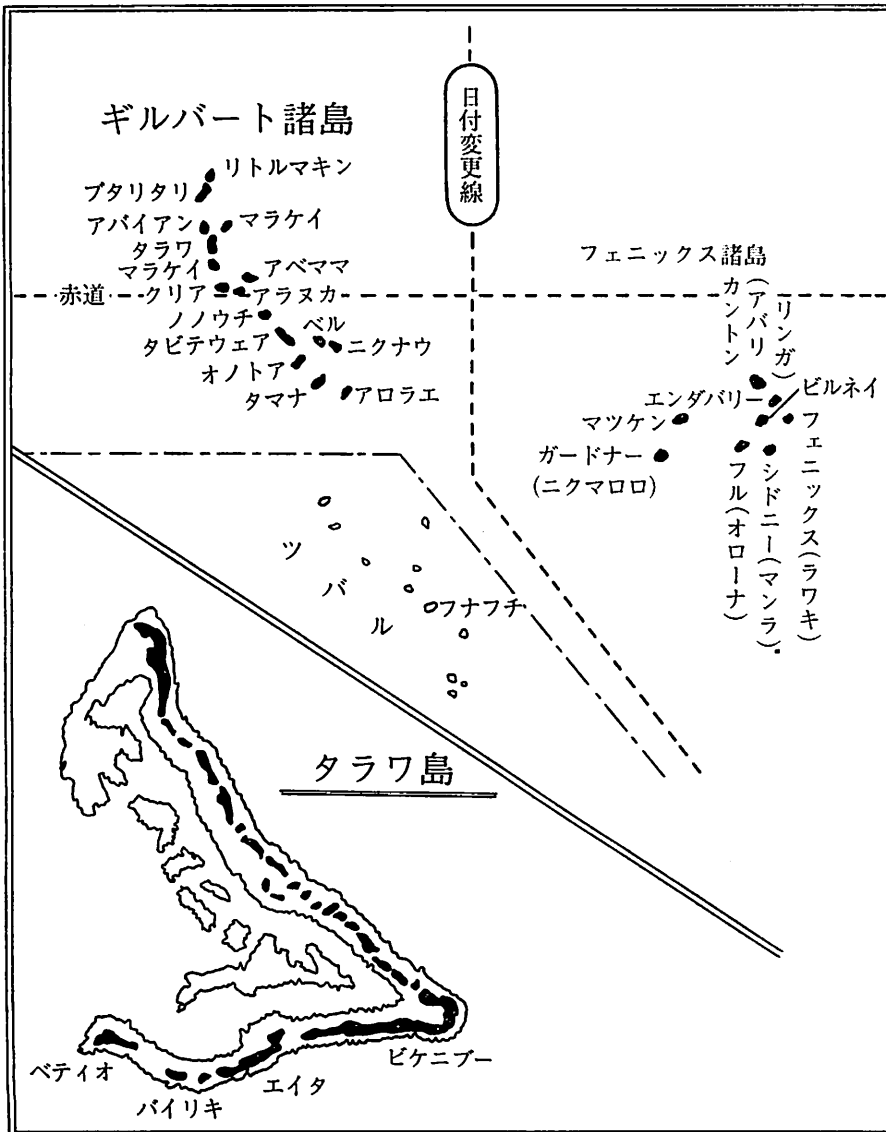
キリパスの最も重要な資源は、バナ

パ(オーシャン)島(最高海拔七八メ  
 ートル)のリン鉱石(一九〇〇年発  
 見)ですが、その埋蔵量も今世紀中に  
 は枯渇するものと思われ、その代替産  
 業の育成が急務とされています。キリ  
 パスの唯一の農業輸出品はコブラで、

政府の援助もあり、一九八二年にはそ  
 の総生産量は八、五〇〇トンに達する  
 見込です。また島嶼国であるため大  
 な二〇〇カイリ水域をもち、漁業が注  
 目され、キハダ、マグロ、カツオが豊  
 富で、さらに礁湖内での海老の養殖に

も重点が置かれています。  
 △貿易▽  
 一九七九年度、輸出は二、二〇〇万  
 濠ドル、うちリン鉱石一、八〇〇万濠  
 ドル、コブラ三〇〇万濠ドルで、輸入  
 は一、九〇〇万濠ドル、主な品目は石

ギルバート諸島  
 フェニックス諸島  
 島 嶼 図





油、同製品、穀物、機械類、肉類など  
となつています。

主な港はバナバとベテリオですが、  
バナバ島には港はなく、船は一キロメ  
ートル沖合の世界で最も深い(三〇〇  
メートル)停泊地のブイに係留され、  
島に上陸するときはボートに乗り移つ  
て船着場に参ります。一九七七年には  
ベテリオに二五六隻が寄港したとい  
うことです。

△教育・文化・情報▽

独立直前の一九七八年、公立の小学  
校八七、中学校一、高校四のほか、タ  
ラワに共学の寄宿制二校、技術及び水  
産の専門学校があり、他にミッショ  
ン中学四校があり、また中学及び高等教  
育のため二〇〇人が海外に留学してい  
たとのことです。

一九七八年現在、八六六の電話があ  
り、ラジオ・タラワが毎日英語、ギル  
バート語の放送を行ない、一九八〇年  
現在、週刊、月刊の新聞各一紙が発行  
され、一九七四年当時、五つの映画館  
(二、〇〇〇席)があつたとのことです。

住民の大半はローマンキャソリック  
又はプロテスタント教会に属し、少数  
のセブンス・デー・アドベントイスト  
及びバハイ教徒がいます。

科学者、技術者の全人口比は、国の  
発展の度合を示す一つの指標とされて  
いますが、キリバスの場合未だ低く、  
かなり古い統計ですが、一九七一年〇  
・三二% (日本は一九七五年一八・三

四%) ということです。また医師一人  
あたり人口は一九七五年二、六九二人  
(日本は一九七九年七七二人)、ベッ  
ド一床あたり人口は一一〇人(日本は  
九二人)とのことです。

政府は無償医療その他の福祉の施策  
を行なっています。都市が少ないた  
め、住民の殆どが土地持ちで、タラワ  
の市街部分を除いては、浮浪少年や住  
宅の問題は極限防止され極貧にあえぐ  
者は殆ど見られないということです。

△日本との関係▽

日本とキリバリスとの貿易額(一、  
〇〇〇米ドル)は、日本からみて

輸 出 輸 入

一九七九年 九九八 一九〇  
一九八〇年 三、六四三 六二四  
一九八一年 二、四六九 五三

で、日本からの著しい出超となつてい  
ます。日本からの主な輸出品は、電気  
機器部分、トロール漁船、航空無線機  
器、バス、トラクタ、モーター・サイ  
クルなどです。

日本は、一九七八年六月二六日キリ  
バスとの間で漁業協定を締結しまし  
た。キリバスの二〇〇カイリ水域内  
における日本のカツオ、マグロ漁獲実績  
は、

はえなわ(トン) 釣 り(トン)

一九七六年 二、五〇〇 三二、二〇〇  
一九七九年 五、五〇〇 六、六〇〇  
に上っています。

日本は、これまでナウルを除くすべ

ての太平洋島嶼国(パプアニューギ  
ニア、フィジー、西サモア、トンガ、ソ  
ロモン諸島、ツバル、キリバス、バヌ  
アツ)に対して経済援助を行なってい  
ていますが、プロジェクトを基本とす  
る無償援助及び青年海外協力隊の派遣  
を含む技術援助が中心となっていま  
す。キリバスに対する一九八〇年の援  
助の実績は無償資金協力一八三万米ド  
ル、技術協力一三万米ドルとなつてお  
り、これらの合計は太平洋島嶼国に対  
する開発援助の一八・七%を占めてい  
ます。

なお、ギルバート諸島のすぐ南に  
位し、ともにイギリスの属領であつ  
たエリス諸島は、一九七五年国民投  
票の結果ギルバート諸島と別れ、キ  
リバスより一足先に一九七八年一〇  
月一日「ツバル」として独立しまし  
た(首都フナフチ、陸地面積二四平  
方キロメートル、人口約七、三〇〇  
人)。

参 考 文 献

The Statesman's Year Book (119  
th edition) edited by John Paxton

太平洋文庫編著

「大洋州」

日本貿易振興会編

「太平洋諸島」

外務省情報文化局国内広報課編

「データにみる日本と大洋州」

故内海軍三様の

「逝去を悼む」

本会会員内海軍三様(第一石材工業  
株会長)は、56年6月20日八十年の波  
瀾万丈の生涯を閉じられました。

昭和43年クエゼリンの慰霊碑製作を  
担当された時は特に入念な施工をされ  
全会員が心から感謝申し上げたこと  
でした。

昨57年ギルバートの副碑製作の折も  
デザインや仕様の細部に至るまで心を  
配り自ら指図をされましたが、完成を  
間近かにして急逝されました。病床に  
あつても碑の進行だけを口にされてお  
られた由です。

社長の内海 勝様は遺志をつぎ、見  
事に仕上げた上に、花入れと香  
立てを作製して寄贈下さいました。

内海様は、明治36年兵庫県に生れ、  
幼少の折両親に死別し、11歳で社会に  
出て以来刻苦勉強して学業にまた事業  
に精進され、功成り名を遂げられまし  
た。

昭和54年には、夫人の郷里の埼玉県  
安養寺に戦歿者の慰霊碑のないことを  
聞き、御影石の見事な碑を寄進し感謝  
されております。

御法名を、敬徳院軍山徹心居士と  
申し上げます

御生前の本会に対する御協力に御礼  
を申し上げ、謹んで御冥福をお祈り  
いたします。



# 政府派遣

## マーシャル諸島慰霊巡拝団帰る

厚生省の井村課長補佐（援護局業務第二課）を団長とするマーシャル諸島慰霊巡拝団一行15名は、その目的を充分に果し全員無事帰国されました。

参加者募集に関して本会にも要請があったので心当りの会員に通報するなどの協力をしました。

一行は、9月27日東京集合、28日成田を発ってサイパンに着き、中部太平洋戦歿者の碑の前で追悼式を行い、29

日サイパンを発って同夜遅くマジュロに着きました。

30日から10月7日までの8日間、ヤルト、ミリ、マロエラップ、ウォックゼ、クエゼリンの各島を慰霊巡拝して10月8日帰国されました。

### ◆参加者

団長 井村 朗（厚生省）

第一班（クエゼリン班）

班長 平林茂人（厚生省）

△以下団員▽

荒谷美佐男、林崎チユ（青森）高木

英子（埼玉）芳賀タツエ（千葉）

田中典子（大阪）斎藤隆利（大分）

第二班（マロエラップ班）

班長 黒沢 弘（厚生省）

△以下団員▽

園部重太（群馬）臼井康嗣（愛知）

大橋トミエ、堀尾藤吉（岐阜）吉田

満太郎（神奈川）森田安一（富山）

以下は井村団長と班長に伺ったお話の一部です。

◇前回53年11月の時は、島と島間の交通に、二〇〇トン位のコブラ集貨船を使い、台風に遭って大層難儀されたので、今回は、マーシャル政府の所有

船マイクロ・チーフ号（六〇〇トン）を借用しておいた。天候は全航海全く平穏で、快適な航海ができた。

その上航海の全期間を、マジュロの山村さんご夫妻とお孫さん、ヨシミさんとお孫さん、マエダドクターの6人がご一緒して案内下さったのは全くありがたかった。

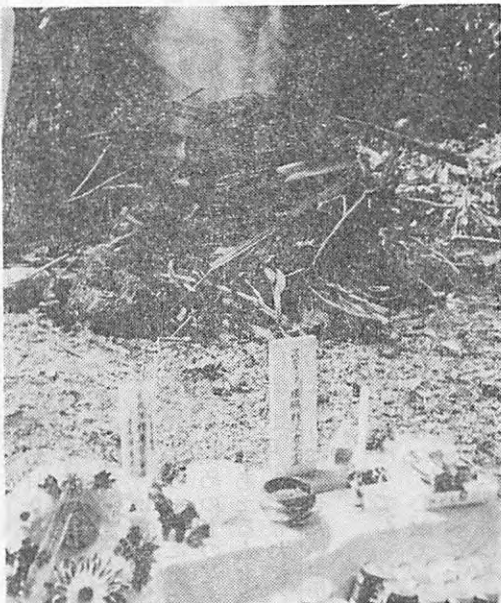
◇クエゼリンへの入域許可はグラムで受取った。クエゼリン入港の時、マロエラップ班は船内待機の予定であったが当日になって突然許可されて、全員が上陸し、お詣りすることができて幸せでした。

碑の近くに遺骨数個が置いてあった。大里さんは「今朝清掃に来た時は無かったので、その後誰かが、今日、日本人が来ることを知って届けて下さったのでしょう」と言われた。

◇マロエラップでは、日本軍人のものと思われるご遺骨12体分を村長から受取り焼骨して日本にお迎えした。

これは、昨年同島を訪れた秋元輝夫さんら（ウォッケ在勤者）が発見し、日下部義徳さん（マロエラップ在勤者）が村長に保管を依頼してあったもので

マロエラップで焼骨



ある。

◇マーシャル方面遺族会の浮田会長以下の皆さんが、長い時間をかけて現地の方々と友好親善を深めてあったので今回の慰霊巡拝が予想以上に円滑に行われ感謝に堪えない。

マジュロでは、前記の方々のほか大ぜいが親しみを以って迎えて下さった。

クエゼリンでは、大里さん、中田さんにお世話になった。

クエゼリンは土地の問題が解決しないため緊張しているように見受けられた。

◇マジュロでは、開発業務のため日本の二社が作業中で、今後両国の関係が深くなることが予想される。



クエゼリン墓参

### 南瀛之碑 清祓式

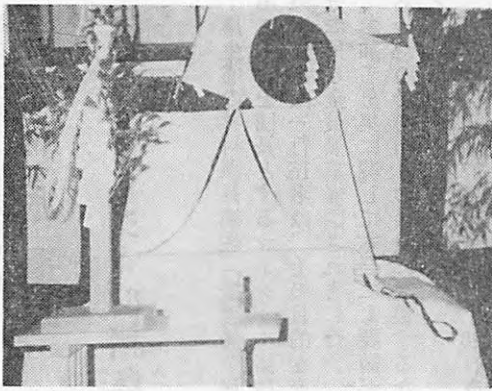
世話人 中 村 久

朝からの雨もいとわず、北は青森、西は山口から馳せ参じた会員、来賓は六十名を超えた。

今日の進行は嶋田世話人が担当し、手際よく運ばれた。先ず、柴崎世話人から本会に「慰霊碑一基」と「蒸気滅菌器二台」の引渡式が行われ、午後一時一同昇殿参拝奉告祭をとり行い、退下して除幕式となる。

除幕式の場所は遊就館前と予定されていたが、雨天のため神社の御好意で参集所内玄関に準備させて頂く。

紅白の幕の中に、笹竹、注連縄の簡素な飾りの中央、白布に覆われた碑は一同の見守るうちに、谷沢重成君(10



歳)と須藤晴彦君(5歳)の引く紅白の紐によって見事な全容を現した。

茨城県稲田産の花崗岩(みかげ石)の白い素肌、黒御影石に深く彫り込まれた力強い「南瀛之碑」の四文字は、一段と格調高く拜せられた。

席を靖国会館に移して柴崎世話人から経過報告を行い、直会となり、参加者全員が自己紹介、所見発表を行った。会員の感謝感激の心情、生存戦友の方々の芳情に胸打たれる思いがした。

私は、三十数年の宿願が叶い、昨年タラワに参りました。「お前元氣か、よく来てくれたナ」と、そんな兄の声が聞えたようでした。

一人も生き残ることのできない状況の中で、兄は誰を思い、何を考えたのであろうか。悠久の大義に生きようと玉砕散華された戦士達の胸中を推し測り乍ら椰子の林をさまよったことでした。

昨年タラワに行った人々が、どんなに小さくてもよいから慰霊碑を、と話し合い、本部に申し出たのはつい先頃でしたが、今立派に完成し現地据付けだけになったのは、夢のようです。

紺碧の海原に浮ぶ白いサンゴ礁の島ベシオ、椰子の葉蔭に精霊の眠るベンオに、家内共々今年も参加させて頂き少しでもお役に立てばと存じております。(57・7・25)

### 清祓式に参加して

千葉県 谷 澤 英 子

この度は浮田会長様はじめ田中様や役員の皆様方又業者の方々の御好意によりましていよいよタラワ島に忠魂慰霊碑が建立されることになり、英霊や遺族にとりこの上ないよろこびでございます。皆々様ほんとうにありがとうございます。

七月二十五日は朝からあいにくの雨でしたが碑の清祓式昇殿参拝(奉告祭)のため小学生の孫をつれて出かけて参りました。

孫の重成は昇殿参拝の折の玉串奉奠や除幕式の幕引等の御指命をいただきびっくりしたり緊張したりでそれはそれは大変でした。重成にとってはどちらも初めての事ですので私も心配で孫の後にびったりついておりましたが無事役目を果たせましたのでホットいしました。

神官さんの祝詞の時のあの壮厳な雰囲気の中でいじらしい程神妙に頭をたれている孫の姿をみて私は夫の靈に「あなたの孫ですよ」と心の中で何度も何度も叫びました。

あれからもう四十年近い年月が容赦なく過ぎ去ろうとしています。戦場に向かつて出発する朝「送らなくてもいいよ」といってさっさと出て行った後姿が今でもはっきりと目にのこっています。一度もふりかえりもせず行つて

しまいそのままかえらぬ人になってしまいました。

戦争とは余りにも残酷なものです。もう二度と戦争をしてはいけません。悲しみは私達だけで沢山です。日本から遠くはなれた南の島に眠っていらっしやる英霊の皆様今度墓碑が出来まして私達はそれを目標として行かれる限りお参りさせていただきます。御冥福を心からお祈りいたします。(57・8・20)

千葉県 谷 澤 重 成

七月二十五日頃は、おばあちゃんと初めて靖国神社に行きました。

靖国神社では、南方で戦死した方々のための石碑ができたのでその石碑の除幕式がありぼくは幕引の役をいたしました。するすると幕がおりて立派な石碑があらわれ、むずかしい字で「南瀛之碑」と大きく書かれていました。

この石碑が日本から遠くはなれた南の島タラワに建てられ国のために戦った功をたたえ感謝するためのものだからです。ぼくには祖父にあたる人もタラワ島で戦死しました。ぼくも大きくなったら一度おまいりに行きたいと思っています。

それからぼくは玉串ほうてんも初めてやらせてもらいました。心配でしたが一生けんめいやりました。おごそかな気持ちになり心から英霊に感謝しました。(57・8・18)



# 戦地からの便り

神戸市 柴崎 晃

発信名 第三特別根拠地隊

司令官 海軍中将 柴崎 恵次

一八・十一・二五 タラワにて玉碎

(第五信)

拝啓 益々御健勝揃って朗かに御留守居のことと悦んでいます。赤道下炎暑の下連日連夜將兵一同御奉公一念に努力しています。又、設営関係の軍夫も皆元気に御奉公しています。御安神被下度。

今日は丁度月も小さいので敵機心配も少く、慰安の演芸会をやらしています。軍夫の中にも兵隊の中にも玄人はだしの否田舎芝居の玄人も居ますので大変な物を上手にやってのけるのには驚きました。実に大したものです。今昼間の部をやっていきます。浅太郎赤城山に帰参国定忠次の一場なんか本物です。一寸休んで之を書いています。司令官室の前に仮舞台が出来ていますが、椰子の葉蔭も日射しはさすが赤道下やきつく程暑いですが皆日頃の苦労を忘れて一生懸命聞いたり見たりしています。

よく働きよく遊ぶ、大いに努力しよく休む、が私のモットーです。これも御奉公万全のため考え出した慰安会で

明日からまた総員身を粉にして訓練

に作戦準備に専心努力するので。第一線の守護かくして寸分の間隙なし、御安神被下度。

デング熱の軽いのがあちららしいですが私には御蔭にて寄りつきもしません御信仰の御蔭でしょう。又、人間病気なんて気のもち様であります。常に健康永久に元氣御安神被下度。

夕方なぞ涼しすぎる位です。何よりも部下一同が元気にやってくれるのが何よりの感謝です。どうぞ御安神を乞ふ。

週に一度航空便があります。一般郵便は大部分船ですから此の手紙も何時着きますやら。

和子、晃も元気に通学してしましうが通学中の不注目の怪我等なきよう時々注意してやられ度。又、隣組長は此の際無理にでも止められ度。佐々木氏も責任もつての話でしたから多分もう実行してくれていること存じます。

テンブラも羊かんも清涼飲料も椰子を利用してはいます。もう大分身体も椰子くさく南洋人らしくなりました。南洋では南洋食と余暇の睡眠が大切のようです。御蔭にて此の頃また太りかけましたような次第です。

此の頃地面をたがやして野菜や西瓜等自給自足を奨励しています。菜は出来ませんが実のものは花がさいても虫や蝶等が居ないので交配が出来ぬらしく兵隊が虫の代用で花を持ちあるいてい

ます。厄介ですが此の分なら相当野菜も出来そうです。

人間窮すれば通ず何とか工夫すれば何でも出来るものです。魚は無尺蔵ですが珍しいものは喰えないらしいです。でも一般に暑い地方のは内地の夏の魚と同じで、全部油等が少ないので味はまずいようです。平あじの六貫目位のデカイのがありますし伊セエビの長さ一尺位もあります。半年や一年はおもしろい処です。ヘルメット、防曇服、日光よけ眼鏡、ステッキ、白靴というスタイルにて毎日勤務しています。

今演芸場より、高瀬実の「アノノオッサン ワンチャーツライ」の声色が聞えています。何れ又、呉々も御心配なく、そして揃って元気に御留守居を願います。今度は「春 高樓の……」の独唱が聞えています。今から又見て来ます。

八月五日午前九時

(九時半が昼食です)

惠次

よし子 殿

(第六信)

和子 殿 戦地の父より

暑中休暇も大部分過ぎました。元氣におもしろく暮らしましたか。

三年目も引き続いてお父さんが御留守にて折角の御休みも物足りなかつた

ことでしよう。でも一億一心にて国民全部が必勝の決意にて勉強しているのですし又誰よりも一番に愛して下さるお母さんが色々心尽しの上おもしろく楽しいそして有意義の休暇を送られしことと存じます。何時も仲よくしてお母さまの御手伝いをして元氣にお留守をして下さい。南洋の内地と変っていることを別便に書いて置きました。晃には少しむずかしいかも知れませんが和子には良く読めましょう。三人にて読んで下さい。私は至って元氣です。沢山の兵隊さんと毎日元氣に訓練をして南の方の護りを十二分に果しています。御安神下さい。では仲よく元氣にそして朗らかに、良く御勉強なさい。それから安子は永いこと居りますので家の人と同じですから仲よくして愉快な朗かな日常を御祈りいたします。安子にもよろしく。

八月二十日、午前二時十五分もうそろそろ兵隊が起きる頃になります。

さようなら

※晃のけんかの夢を見て 仲裁の母のたもとで 鼻をふき

|| こんな弱虫にきつとならないようになさい。|| 父より

高度三千五百米、気圧の関係もありウツラウツラしている間に一気に千三百哩を突破一五〇〇哩平穩なるも航空十時間にて無事当地に着きました。南洋と言いますが、そう暑くもないよう

です。景色のよい美しい町です。早速ヘルメットを求めまして荷物一個増しました。

御見送り御苦労でした。また不在になります。隣組長を辞退のことも実現しそうです。家の方は何一つ心配なくお委せ出来るので只揃って朗かに元気で言うことのみを残して出征出来ますのが武人として何よりの幸福であります。油谷の方には改めて貴女より礼状出しておかれ度。母なれば兄弟なればとつくづく感謝しました。元氣にうんと努力御奉公をいたして来ます。親譲りの頑健な身体決して御心配無用に願います。八月頃の不順の氣節をひかへ揃って御健勝を御祈りします。

満月の葉蔭やすよし 南洋の夜  
サイパン海軍倶楽部に  
七月十六日 恵次

よし子殿

(註・柴崎 晃)

1、当時私どもは東京の世田谷区松原町に住んでいました。母は病気がちでしたが隣組長を二期つとめました。

2、安子とは、兵庫県から来ていたお手伝いさんです。食事などは家族と全く同じでした。

3、父がタラワに行くとき、名刺の裏に私ども姉弟あてに次のように書いてゆきました。(姉12歳、私10歳)

一、姉弟よくすること  
二、ネエヤは家族の一員ですから仲

よくすること

三、カナリヤにエサを忘れないこと  
(ローラーカナリヤを三羽飼っていました)

四、油谷には母の弟が住んでおり父の出征を見送りに来ました。

### 会員の便りから

①住所 ②戦歿者とその続柄

豊橋市 鈴木麗子

此度初めてお便り致します。先日山口市の嘉村栄様より御紹介頂きましたのですが、亡父野村信二はギルバート方面で戦死致しております。此度は慰霊碑が出来ましたとか、戦い終って三十九年経とうとしておりましても慰霊碑をと思ひ願う人々がいらつしやると伺い本当にうれしゅうございました。

マーションル方面遺族会に入会させて頂き、尚また慰霊の為の団体がありましたら、同行させて頂きたく、ぶしつけ乍らお便りさせて頂きました。

一度父の戦死した所をたずねたいと願いつつどのようにしたものかと思っておりました。折がありましたら是非共よろしく願います。お手数乍ら入会の手続きの件、よろしくお願い致します。草々 かしこ (57・7・28)

①豊橋市花中町一三二  
②海軍少佐 野村信二殿 (ギルバートで戦死) の長女

東京都 星野綾子

浮田様 とつぜんお電話を差し上げ申し訳ございませんでした。

七月四日放映(トラック島、兄の戦死の日に近いので)のことでTV局に電話しましたら、松本さんの御住所を知らせて下さいましたのでお手紙しましたら、名簿やいろいろのものをおくって下さり、また、浮田様のこともお知らせ下さいました。私も前にいろいろしらべましたが、ブラウン島がどこにあるのかさえもわかりませんでした。マーションル群島とビキニ島とは近いようですね。ビキニ水爆のあった時には新聞にも名前が出たのではないのでしょうか。エニウエトクと名もかわりよけいわからなかったのでは。少数で守備をして、物かげにかくれる所もないような島、死ぬのが当然と思われ

ます。水爆とハリケーンで遺品は何もないとか、死んでもからも水爆にさらされていたと思えますと悲しさといきどうりでいっばいです。

二月の新聞に戦争博物館というタイトルで、ドイツ人のリンデマンさんも「戦争はむなししく、おろかしい」と海底写真と談話のついでにいました。本当にそうだと存じます。そのリンデマンさんと文通することが出来、先日海底の美しい写真をいただきました。三十年代前のいまわしい海はいまはおだやかで静かです。いつまでも、いつまで

もこの静かで美しさが保たれる事を望んでやみません。悲しい思いをするのは私達だけでたくさんです。とりとめもなく書きましてすみません。

会費同封しますのでおねがい致します。兄の事何でもけっこうでございます、お知らせ下さいませ。お暑くなりますから御身御大切に。かしこ (57・8・4)

①東京都江東区牡丹一〇一五  
②中野幸男殿 (ブラウンで戦死) の妹

高崎市 常見千尋

初めまして、この度は環礁誌を私共にお送り頂きまして誠に有難うございました。

皆さまの大変な御尽力により、こんなにも早く慰霊碑建立の運びとなりました事を知り、唯々有難く感謝申し上げます。何の微力すらも持ち得ない自分に申し訳なく思っております。本日少しでございますが、慰霊碑建立に送金させて頂きましたのでよろしくお願い申し上げます。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます。有難うございました。 (57・6・25)

①高崎市乗附町三六一〇一四  
コロニー宿舎B一〇四  
②海軍一一一設営隊伊藤信男殿 (タラワで戦死) の長女



昭和五十八年二月六日(日)

慰霊祭 六日 靖国神社  
直会旅行 六日・七日 房総白浜の御案内

明けておめでとう御座います。  
恒例の二月六日の行事について御案内申し上げます。

◎慰霊祭と定期総会

午前九時 受付開始、午前十時 慰霊祭、午前十一時 定期総会  
タラワに建立された南瀛之碑の除幕式の報告 靖国神社II  
◎九段会館に宿泊を希望される方は、宿泊月日、氏名、性別、年齢を  
書いて、一月十五日迄に料金を添えお申し込み下さい。宿泊料は、  
一泊二食付で四、六〇〇円です。

◎直会旅行会(六日・七日(月)・七日(月))

乗物 往復大型観光バス、行先 南房総白浜  
宿泊 白浜海岸 南国ホテル 電話(〇四七〇三八一三七一一)  
費用 小学生以上 一九、〇〇〇円(六日の昼食代、バス代、宿泊  
代、七日の昼食代、記念写真代共)  
申込 一月十五日迄に、氏名、住所、性別、年齢を記入し料金を添  
えてお申込下さい。申込順に受付けて、一月十五日又はその  
前でも、一〇〇名に達した時締切ります。

変更

申込後欠席になった時は、すぐ電話を下さい。一月中旬に通知  
のあった方には申込金の全額をお返します。二月に入って  
から通知の方には、取消料等を差引いてお返します。通知  
の早い程取消料は少なくてすみます。

◎コース

バスは昼食弁当、お茶等を積みこんで靖国神社を出発します。  
今回は、温暖な気候に恵まれ真冬でも花盛りの南房州白浜にま  
います。南国ホテル自慢の魚料理で直会の後、タラワに建立された  
南瀛之碑の現地除幕式、慰霊祭の模様を、スライドとアルバムで御  
報告することとしております。

七日(月)は、白亜の野島崎燈台を見学、続いて四季の花の咲く  
フラワーセンターを觀賞した後、日蓮の生誕地を記念して建てられ  
た誕生寺を拝観します。その後行川アイランドで昼食をとります。  
ここでは約二〇〇羽がダンスを踊るフラミンゴショーやクジャクシ  
ョーなどを楽しんで頂き、ここから大多喜、千葉経由、一路東京へ  
向かいます。東京駅着六時の予定、九段会館まで参ります。  
道路の渋滞が予想されますので、東京より乗り継いで遠地へお帰  
りの方は到着時間より一時間位の余裕を見て切符をおとり下さい。  
尚当日の御申込みは、人数の都合でお断りすることもありますの  
で、必らず一月十五日迄にお申込み下さるようお願い致します。

寄附者芳名

(敬称略)  
(五八名)

本欄に掲載の会員各位は、年度会費御完納の上の御寄付であり  
本会運営に寄与するところ多く役職員一同いつも感謝申し上げて  
おります。一層節約を旨とし本務遂行に事欠かぬよう留意致しま  
すので今後共御協力頂きたく御礼と共に御願ひ申し上げます。  
(昭和56年6月1日から昭和57年10月31日までに入金の分)

篤志会員その他

- |       |             |         |         |       |         |          |
|-------|-------------|---------|---------|-------|---------|----------|
| 一〇〇〇〇 | 嘉村 栄殿       | 二〇〇〇    | 兄 新後閑 彰 | ◇長野県  | 二〇〇〇    | 母 山本 あさ  |
| 一〇〇〇〇 | 金子 英郎殿      | 六〇〇〇    | 弟 山藤 茂  | ◇岐阜県  | 一〇〇〇    | 母 寺沢喜美代  |
| 〃     | 明正交易起業株式会社殿 | ◇千葉県    | 妻 大森 すゞ | ◇静岡県  | 一〇〇〇    | 妹 石川 みち  |
| 〃     | 香月 正紀殿      | 三〇〇〇    | 妻 加瀬 よし | ◇愛知県  | 一〇〇〇    | 母 小山内小美賀 |
| 〃     | 鈴木 寅雄殿      | 二〇〇〇    | 妻 立原 てい | ◇京都府  | 三〇〇〇    | 妻 八木 きよ  |
| 〃     | 中島新之丞殿      | 〃       | 妻 宮崎富兵衛 | ◇大阪府  | 四〇〇〇    | 妻 松宮 花子  |
| 〃     | 前田與太郎殿      | 〃       | 兄 小島 章  | ◇鳥取県  | 五〇〇〇    | 妹 井上 照美  |
| 五〇〇〇  | 浦郷 久之殿      | ◇東京都    | 妻 佐竹 エス | ◇山口県  | 一〇〇〇〇   | 妻 内富みつよ  |
| 〃     | ナウル島四高会殿    | 一〇〇〇〇   | 弟 土岐 達雄 | ◇徳島県  | 二〇〇〇    | 妹 米田 正子  |
| 〃     | 九五二空会殿      | 〃       | 妻 佐竹 エス | ◇香川県  | 一〇〇〇    | 妻 増井ヨシエ  |
| 二〇〇〇  | 五十鈴会殿       | 〃       | 妻 吉田 いそ | ◇高知県  | 一〇〇〇    | 妻 近森 幸恵  |
| 一〇〇〇〇 | 奥 清一殿       | 〃       | 妻 小野 リエ | ◇福岡県  | 二〇〇〇    | 父 杉山 柳平  |
| 〃     | 進藤 進殿       | 〃       | 妹 星野 綾子 | 〃     | 〃       | 妻 森 キヨ子  |
| ◇青森県  | 三〇〇〇        | 兄 池田 精治 | 妻 佐藤 貞子 | ◇佐賀県  | 一〇〇〇    | 兄 一木 貞利  |
| ◇岩手県  | 五〇〇〇        | 妻 橋本 強  | 母 助川與富子 | 三〇〇〇  | 母 大串 キサ |          |
| ◇秋田県  | 一〇〇〇        | 妻 小前 ミヤ | 母 関根 テツ | ◇長崎県  | 二〇〇〇    | 中村フヤ子    |
| ◇福島県  | 一〇〇〇        | 兄 三浦 一郎 | 妻 田中トメノ | ◇鹿児島県 | 一〇〇〇〇   | 妻 揚野サツエ  |
| ◇栃木県  | 六〇〇〇        | 弟 木村恒三郎 | 妻 藤田 ヨリ | 一〇〇〇〇 | 妻 九田 キワ |          |
| ◇群馬県  | 一〇〇〇〇       | 父 田島 幸松 | 弟 片桐 さき | ◇沖縄県  | 六〇〇〇    | 宮城 幸子    |

